



vol.46 2017

グループホーム こんびら

行事報告

サンライズ こんびら

行事報告

取り組み：「院内学会にて
取り組みを発表」

利口げな話

特集：「へえ～っ、なんだ!?
～昔の人はすごい!!～」 第40回

編集後記

関連機関



特集

へえ～っ、なんだ!?
～昔の人はすごい!!～

第40回

ご先祖様に手を合わせた後はぼたもちを食べる

春分の日と秋分の日の、前後3日をお彼岸といいます。極楽のある真西の方角に日が沈むので、日没の方向に手をあわせるのです。牡丹の季節の春のお彼岸にお供えするのがぼたもち、萩の秋はおはぎです。あずきの赤色が災難よけになるといわれ、昔から縁起物でもあります。本来は仏壇にそなえるものでした。家族そろってのお墓参りでは、汚れた墓石の掃除からはじめます。手桶からひしゃくで水をすくってタワシで洗い、汚れを落とし、まわりのゴミや雑草をのぞきます。その後束のまま線香に火をつけ、ひしゃくで水をかけながら、故人に縁の近い順に拝みます。お参りがすんだら供えたぼたもちのお下がりをいただきます。

*昔から、「おばあちゃんの知恵」といわれているものは、長年の経験に基づいた先人たちの知恵の凝縮です。わたしたちも入居者の皆様から、たくさんの「へえ～っ、なんだ!? 知らなかった～!昔の人はすごいなあ～」と、実感できるアイデアを日々、教わっています。

(参考文献:宝島社 おばあちゃんの知恵袋 決定版 生活のコツ700 編集／佐藤倫子)

編集後記

夏も終わり、秋らしい季節になってきました。秋といえばスポーツの秋です。気候的にも身体を動かしやすいので、秋の紅葉を見ながら散歩などに出かけましょう。身体を動かすことでの良い運動になりますよ。

グループホームこんびら・サンライズこんびら広報誌「こんびらだより」第46号
発行元：グループホーム こんびら・サンライズ こんびら
編集者：こんびらだより発行部
住所:〒766-0002 仲多度郡琴平町167
TEL:0877-73-0811 FAX:0877-73-0812
ホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/>(永生病院のホームページよりお進みください)
eメールでのお問い合わせは keiryokai@eisei-hp.or.jp
発行年月日:平成29年10月11日



支援医療機関 介護保険事業所



永生病院
〒769-0311
仲多度郡まんのう町賀田221-3
Tel 0877-73-3300



森内科 (グループホームこんびら)
建物の1階
〒766-0002 仲多度郡琴平町167
Tel 0877-73-4188



サンライズこんびら
(小規模多機能型居宅介護)
〒766-0004
仲多度郡琴平町榎井字池田451番地1
Tel 0877-58-8600

● **いこいの郷** (居宅介護支援事業所) Tel 0877-73-3655

● **いこいの家** (通所介護) Tel 0877-73-3718

● **げんきの郷** (通所介護) 〒769-0311 仲多度郡まんのう町賀田102-1
Tel 0877-58-8811



KEIRYOKAI
produced by
医療法人圭良会

グループホームこんぴら

Group Home Konpira

●基本理念

家庭的温かさ・個人の尊厳を大切にし、豊かな生きがいのある共同生活が送られるよう、家族の一員としての介護支援を行います

●基本方針

- 1.家庭的で安全な療養環境を提供します
- 2.24時間家族の一員がそばにいる安心感がもてるよう介護支援を行います
- 3.自分らしさを尊重した生活が送られるよう入居者の健康増進を図り個別性のある介護支援を行います

～防災訓練～

グループホームこんぴらでは、避難訓練を入居者様と一緒に年3回実施しています。入居者様の避難誘導が安全に行っているか、消火器・消火栓が正しく使用できるか等、確認しながら行っています。いつ起こるかわからない地震や火災、台風による水害等に備え、迅速かつ安全に対応できるように、今後も取り組んで行きたいと思います。



～永生病院夏祭り～

8月26日(土)毎年楽しみにしている夏祭りが開催されました。今年は朝から天候が悪く、屋外での開催が危ぶまれていましたが、入居者様の思いが通じたのか天候は次第に回復し、無事に屋外で開催することができました。外で食べる焼きそばは格別に美味しい、カラオケや託児所の子供たちのダンスを始め、ドキドキしながら参加した抽選会、夏祭りには欠かせない忠八太鼓の演奏などを楽しみました。最後に夜空を彩る打ち上げ花火を見上げながら、夏の終わりを満喫できた1日となりました。

～地域運営推進会議～

グループホームこんぴらでは、2か月に1回地域運営推進会議を開催しています。8月の会議では、仲多度南部消防署の方に来ていただき心肺蘇生法の勉強会を行いました。もしもの時に備えて繰り返し練習することが重要であるため、皆真剣にレサシアンを使ってAEDの使用方法を学んでいました。

また、大規模地震災害などに備えて、非常持ち出し袋などの準備をする、寝ている部屋には倒れてくるようなものは置かない、寝ている部屋にスリッパを置いておくのも有効、等の話を頂きました。そして、災害が起った時は自分だけでなく、周りを思いやる心が大切だと話してくれました。



取り組み

●院内学会にて取り組みを発表

毎年、秋に圭良会全体で院内学会を開催しています。職員2~3人がチームになりテーマを決め、様々な取り組みやその成果をまとめて発表しています。今年の院内学会は、「入居者様100歳のお祝い」「RUN伴(ラン伴)に参加して」「森内科・グループホーム災害時の協力体制」「火災発生時のマニュアル」等のテーマで発表しました。

近年、防災への意識の高まりや、認知症について社会全体で認知症の方を支えようという取り組みが広がっています。グループホームでも理念にあるように入居者様に家庭的で安全な療養環境の中で安心して過ごせるよう色々な取り組みを行い、それを院内学会にて法人全体に伝えていきたいと思います。

サンライズこんぴら

Sunrise Konpira

●基本理念

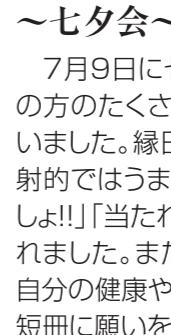
住み慣れた地域の中で、その人らしく暮らし続けられるよう、在宅生活の支援を行います

●基本方針

- 1.早い泊まり訪問のサービスを、随時組み合わせた介護支援を行います
- 2.地域の中での関係を大切に継続するとともに、個別性を尊重した支援を行います
- 3.365日24時間切れ目がない安心した在宅生活が送れるような支援を目指します

～保育所交流会～

6月27日にサンライズこんぴらに北保育所の園児達が来られ交流会がありました。可愛い園児達の歌やダンスをみたり、一緒にカレンダー作りを行ったりしました。利用者様の近くに園児達が来るといつもよりたくさん笑顔がみられ、「子供は可愛いな。」「若い子の元気をもらった。」「また来て欲しい」と大変喜ばれていきました。今後も北保育所との交流会の予定があるので皆さん楽しみにされています。



～七夕会～

7月9日に七夕会を行いました。利用者様、ご家族様、地域の方のたくさんの参加がありました。七夕会の中で縁日を行いました。縁日では射的、金魚すくい、くじ引きを行いました。射的ではうまく的に当てる様に皆さん真剣な表情で「よいしょ!!」「当たれ!!」と掛け声をだしながらゲームを楽しんでおりました。また短冊にそれぞれの願いを書かれていました。自分の健康や家族の健康を願っていたり、長生きできる様に短冊に願いを書かれている方もいらっしゃいました。

利口げな話

認知症や介護について、分かりやすく説明したいと思います。



第19回 排泄の失敗

排泄の失敗は、本人にとって非常にショックな事です。失敗の原因は、色々ある事を理解しておく事が必要です。また周りの対応で本人のプライドを傷つけずにします。

①トイレの場所が分からなくなってしまう。

場所の見当識障害。初めは夜間だけですが、その後日中でもわからなくなります。

対応策 トイレの場所をわかりやすく、風呂場、玄関のたたき等、トイレと間違いややすい場所のドアを隠す。夜間は、廊下の明かりをつけておく、トイレの明かりをつけドアを開けっぱなしにしておくといった対応も良いと思います。

②衣類の着脱に手間取って汚してしまう事が起こる

脳血管性認知症で運動障害がある場合、アルツハイマー型認知症で更衣がうまくできなくなる場合があります。

対応策 脱ぎ着に時間がかかる衣服で着慣れている物に変えてみてください。

③尿意・便意を感じにくくなる。

対応策 排尿、排便の周期を観察して、定期的なトイレの誘導で対応できます。

※排泄の失敗には前立腺肥大や膀胱炎等、身体の病気が原因のこともあります。本人が痛み等の身体の異常を感じにくくなる事もあります。周囲の人はこの視点からも気にかける必要があります。

(●参考文献:キャラバンメイト養成テキスト ●執筆及び編集協力/齊藤正彦(東京都立松沢病院 院長)・山口晴保(群馬大学大学院保健学研究科)・杉山孝博(川崎幸クリニック))

